

好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴鳥イ言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edupref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

五月のサンチマンタリズム

教頭 秋元 達也

最近、中学校での高校説明会出席で走り回っている。ほぼ毎日、どこかの中学校に顔を出し、三年生と保護者に対して平均十五分間、鶴丸を紹介している。

まづ校長室に通され挨拶を交わした後、予定時間の五分前くらいに会場（ほとんど体育館）へと案内される。会場では順番が一つ前の高校がいよいよクワイマックスを迎えんと語りながらヒートアップ中。それを意識すると自分の語り

集団読書

5月16日(月)に三年生、23日(月)に二年生、30日(月)に一年生の集団読書会がそれぞれ行われた。

この巨木の枝はどこまで伸びていくのだろうか。光を追い求め、上へ上へと伸びていく、その行く先には何があるのだろうか。それはその枝と、枝に群れなす花房にしか体験できない世界のはずだ。下を見上げていられる者には体感できない次元だ。

同時に、巨木は無数の太く深い根を有する。それは現在の鶴丸、そしてそこで学ぶ生徒一人ひとりを支える基盤だ。そしてその一本は、間違いなく中学校に連なっている。

PTA総会

5月11日(水)、PTA総会が開かれ、前年度会務報告及び決算報告、今年度事業計画案及び予算案、新役員選出などについて協議が行われすべて承認された。

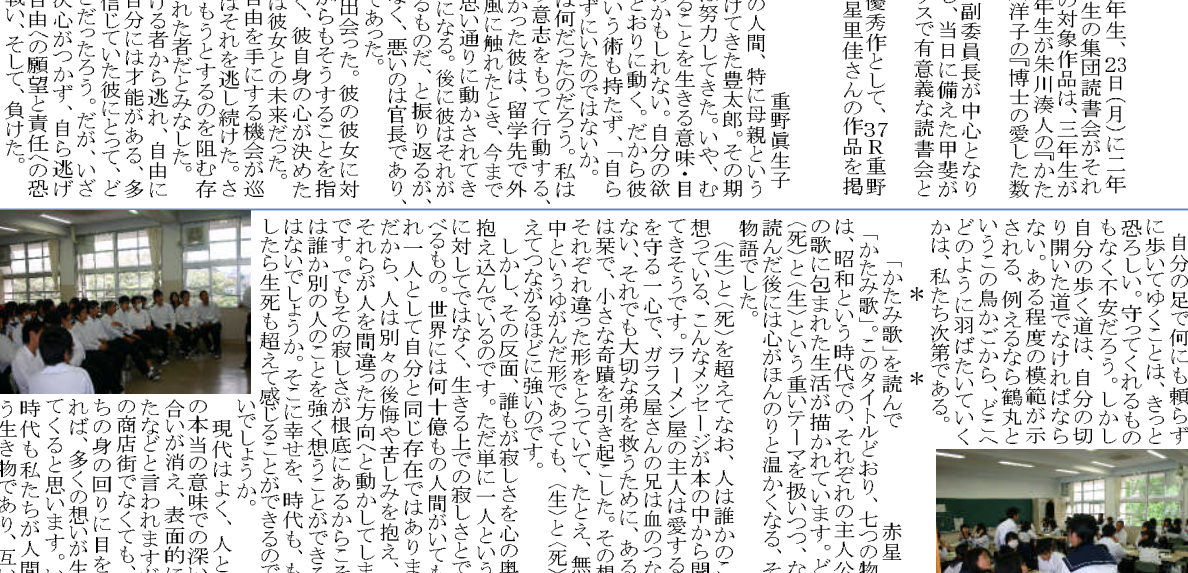
「かたみ歌」を讀んで 赤星 里佳 「かたみ歌。このタイトルどおり、七つの物語で昭和という時代で、それぞれの主人公たちが歌に包まれた生活が描かれています。どれも(死と生)という重いテーマを扱いつつ、なぜか読んだ後には心がほんのりと温かくなる、そんな物語でした。

「舞姫」を讀んで 重野眞生子 幼少の頃から周囲の人間、特に母親という存在からの期待を受けてきた豊太郎。その期待に答えるべく、彼は努力してきた。いや、むしろその期待に応えることを生きる意味、目的として生きてきたのかも知れない。自分の欲求を抑え、人が言うとおりに動いた。だから彼は「自ら選択する」という術も持たず、「自ら決断する」ともできずにいたのではないかと、彼の望んだ自由とは何だったのだろうか。私はこれをいう経験の少なかつた彼は、留学先で外国の大学の自由な校風に触れたとき、今まで自分は周りの人間の思い通りに動かされてきたのだと感ずるようになる。後に彼はそれが自分の心の弱さによるものだと、振り返るが、この時は自分に非はなく、悪いのは官長であり、もしくは不幸な運命であった。

6月の行事予定

Calendar table for June with columns for date, day of the week, and event details.

交通安全教室 5月24日(火)、鹿児島西警察署交通課の山下浩二さんを講師にお招きして交通安全教室が実施された。



交通安全教室 本校は昨年度、自転車安全利用モデル校に指定されていたが、一年間の自転車マナーに対する本校生の登下校の様子や管内で起きた事故の報告があった。その上で、ルールを守れば事故はないのかというテーマで、交通ルールを遵守することは大切だが、それだけで自分の身を守れないということ、相手が期待通りのことをしてくれず、状況判断をすることが大事であるということをお話していただいた。